

別記様式第2号（第8条関係）

議員に係る政務活動費収支報告等

令和6年3月31日

糸満市議会議長 殿

議員名 賀数 郁美  印

令和5年度政務活動費収支報告について

糸満市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり
令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和5年度 政務活動費収支報告書

議員名 賀数 郁美

1 収 入

政務活動費 120,000 円

2 支 出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	35,000	地方議会特別セミナー参加費、平和学習ツアー参加費、オンライン「自由の学校」受講料
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	7,700	書籍代
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
合 計	42,700	

3 残 額 77,300 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

会 計 帳 簿

会派名又は議員名	賀数 郁美
----------	-------

令和5年度

単位：円

月	日	摘 要	収入額	支出額	残 額	支 出 項 目（領収書等整理番号）														備 考		
						調査研究費		研修費		広報費		広聴費		要請・陳情活動費		会議費		資料作成費			資料購入費	
4	25	政務活動費 （4月～9月分）	120,000		120,000																	
		【研修費】			120,000																	
5	9	地方議会特別セミナー		5,000	115,000			5,000	1													
6	18	平和学習ツアー		6,000	109,000			6,000	2													
	21	「自由の学校」受講料		24,000	85,000			24,000	3													
		【資料購入費】			85,000																	
6	27	書籍代（1冊）		1,980	83,020											1,980	4					
7	28	書籍代（2冊）		4,620	78,400											4,620	5					
8	24	書籍代（1冊）		1,100	77,300											1,100	6					
					77,300																	
					77,300																	
					77,300																	
					77,300																	
					77,300																	
					77,300																	
累 計			120,000	42,700	77,300			35,000								7,700						

研 修 費

調査研究・研修活動実績報告書

提出日 年 月 日

議員氏名	賀数 郁美 	*会派の場合 会派名 会派代表者	印
調査・研修期間	R5年 5月 9日(火) ～ R5年 5月 9日(火)		
参加者氏名	賀数 郁美		
場所(調査・研修先)	シュガーホール (南城市)		
調査・研修先説明者	自治体議会研究所 代表 高沖 秀宣		
市政との関連性	地域活性化、議員の資質向上、議会運営の基本を学ぶ		
目的・内容	①議員の資質向上の在り方 ②「二次代表制」における議会活動 ③議会運営の基本と一般質問 ④議員力・議会力の強化と政策提言・政策提案		
成果・所感 (市政の課題等に対しどのように参考になったか)	市議会は議決機関で良いのか。 憲法93条 議事機関として議会を設置する。 審議する、熟議する機関 住民の代表機関であり、議決機関であるとされる合議制の住民代表機関であるから、多様な民意の反映が求められており、議会はいかに民意を反映できるかが大きな課題とされる。 長その他の執行機関の事務執行に対しこれを監視する機能、それぞれ直接住民を代表する機関である。議会と長が相互の牽制と均衡の関係に立つと言う考え方に基づくもの、憲法上、いわゆる二元代表制が要請されている。議会は、住民の代表機関といった立場から、当該自治体の行政全般にわたる監視機能を果たすことが求められる。 議会は住民の代表機関といった立場から、当該自治体の行政全般にわたる監視機能を果たすことが求められるが、首長優位の仕組み、専決処分、再議制度、予算、予算修正権の限界など自治体議員は首長優位のシステムに二元代表制の立場から戦略を持って対抗していかなければならない。 だから、議会は首長の追認機関ではなく二元代表を理解し追求していく事。		

活動実績旅費等明細書

提出日 年 月 日

議員氏名	賀数 郁美 印	*会派の場合 会派名 会派代表者	印	
調査・研修期間	R5年5月9日(火) ～ R5年5月9日(火)			
参加者氏名	賀数 郁美			
場 所 (調査・研修先)	シュガーホール (南城市)			
支出科目	調査研究費 ・ 研修費			
調査研究・研修活動に要した旅費等経費	使途項目	内 容	金 額	備 考
	セミナー参加費		5,000 円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
合 計			5,000 円	

整理番号

1

【項目】	☐ 調査研究費	☒ 研修費	☐ 広報費	☐ 広聴費	☐ 要請・陳情活動費
	☐ 会議費	☐ 資料作成費	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務所費

領 収 書

賀数 郁夫 様

金 5,000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、「地方議会特別セミナー」研修資料代として。

令和 5 年 5 月 9 日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表 高 沖 秀 宣



小計額

5,000 円

充当額

5,000 円

新人からベテランまで

自治体議会特別セミナー in 南城!!

議員の資質向上と議会運営の基本

本セミナーは、地域を活性化させるために、二代表制の下、日々尽力されている自治体議会議員と市民・議会事務局職員のための「学びの場」です。

特に新人議員等やる気のある議員が議会活動・議員活動を行う上で、特に重要な「議員の資質向上」と「議会運営の基本」について講義します。どうぞ南城地域の自治体の新人議員等議会関係者の参加をお待ちしております。

(プログラム)

- 1 議員の資質向上と二代表制
- 2 議会運営の基本
- 3 議会からの政策提言・政策例
- 4 一般質問の仕方と議員力・議会力の強化

日 時	2023(令和 5)年
	5月9日(火)
会 場	13:30~16:00 (2 時間半)
	※受付開始は 13:00
受 講 料	南城市文化センター(シュガーホール)会議室(予定)
	南城市佐敷字佐敷 307 tel098-947-1100
受 講 料	7,000 円(議員)、4,000 円(市民・職員)(当日払)
	※ テキスト代 2,000 円含む(お持ちの方は持参願います)



使用テキスト

講 師	自治体議会研究所 代表 高沖秀宣
	(議会事務局研究会共同代表、元三重県議会事務局次長) 1953 年三重県生れ、京都大学法学部卒。2002 年 4 月から三重県議会事務局で、政策 法務監・政務調査課長・企画法務課長・総務課長・次長を歴任。 著書『自治体議会改革講義』(東京法令出版、2018 年)をテキストに使用(当日配付)
申込方法	下記の mail(又は電話)にて、所属議会名、氏名、連絡先をお知らせください。 (参加者・講師はマスク原則着用。消毒、3 密には十分留意して実施予定。)
申込み・ 問合せ先	自治体議会研究所(三重県津市白山町二本木 545)(代表:高沖秀宣) mail: soukon830@yahoo.co.jp、電話:090-4116-4501(9 時~19 時)

調査研究・研修活動実績報告書

提出日 年 月 日

議員氏名	賀数 郁美 	*会派の場合 会派名 会派代表者	印
調査・研修期間	R5年 6月 18日(日) ～ R5年 6月 18日(日)		
参加者氏名	賀数 郁美		
場所(調査・研修先)	・ 陸軍病院南風原壕 ・ 平和記念公園 ・ 白梅之塔		
調査・研修先説明者	ピーススタディーツアー実行委員会 代表 糸数 慶子		
市政との関連性	本島南部の戦跡等を巡り、沖縄戦の歴史を知ること、糸満市として平和を伝えていくことの意義を学ぶ		
目的・内容	沖縄戦の歴史を学ぶことで、沖縄を知り、平和を考える		
成果・所感 (市政の課題等に対しどのように参考になったか)	沖縄陸軍病院 沖縄陸軍病院は、1944年5月に熊本で第32軍の陸軍病院として編成されました。6月から那覇市内で活動を始めましたが、日米軍空襲によって施設が焼却し、南風原国民学校校舎に移転しました。 米軍の艦砲射撃が始まった1945(昭和20)年3月下旬、陸軍病院は各壕へと移りました。広池文吉病院長以下、軍医、看護婦、衛生兵ら約350人に加え、沖縄師範学校女子部・県立第一高等女学校の生徒(ひめゆり学徒)222人が教師18人に引率され、看護補助要員として動員されました。 4月1日に米軍上陸後、外傷患者の激増に対応するため、外科を第一外科、内科を第二外科、伝染病科を第三外科へと改めました。5月下旬、第32軍司令部は摩文仁(糸満市)へ撤去を決定し、陸軍病院に撤去命令が出されました。その際、重症患者に青酸カリが配られ、自決の強制が行われました。 南風原町は1990年、戦争の悲惨さを伝える証として、第一外科壕群・第二外科壕群を町の文化財に指定した。 摩文仁では沖縄戦終焉の地として沢山の住民が逃げてきた土地で沢山の死者が出た。こどもの死者も多く平和の礎には名前も分からない方々の名前が「〇〇の次男」「〇〇の長女」等と刻銘されている人数も少なくない。 遺骨収集、DNA検査を経て新たに刻銘される数は数百にものぼる。 糸満市から平和を発信する意義を強く感じるツアーとなりました。		

活動実績旅費等明細書

提出日 年 月 日

議員氏名	賀数 郁美 印	*会派の場合 会派名 会派代表者	印	
調査・研修期間	R5年6月18日(日) ～ R5年6月18日(日)			
参加者氏名	賀数 郁美			
場 所 (調査・研修先)				
支出科目	調査研究費 ・ 研修費			
調査研究・研修活動に要した旅費等経費	使途項目	内 容	金 額	備 考
	参加費		6,000 円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
合 計			6,000 円	

【参考様式 ⑦】 領収書貼付用紙

整理番号

2

【項目】

☒ 調査研究費

☒ 研修費

☐ 広報費

☐ 広聴費

☐ 要請・陳情活動費

☐ 会議費

☐ 資料作成費

☐ 資料購入費

☐ 人件費

☐ 事務所費

領収証

№

賀 数 郁 美 様

毎度ありがとうございます



8,000

但 平和学習ツツ-代とレ?

2023 年 8 月 18 日 上記の金額正に領収いたしました

那覇市久茂43-15-18-202

ピーススタジアム実行委員会



日本協会 領収3

小計額

6,000 円

充当額

6,000 円

糸数慶子と行く



ピーススタディーツアー2023

PEACE STUDY TOUR 2023

本島南部コース

(陸軍病院南風原壕～平和記念公園～白梅之塔)

日時 2023年6月18日(日) 午前8:30集合

集合場所 バレット久茂地前

日程 本島南部

9:00 出発

バレット久茂地前～首里城(第32司令部遺跡)

10:00 南風原町喜慶武・南風原文化センター

(沖縄陸軍病院南風原壕)

11:30 八重瀬町具志堅(ガラビ塚)

12:30 糸満市摩文仁 <昼食・でいごレストラン>

(平和記念公園・資料館・韓国館の塔・平和の礎)

14:00 糸満市米須(魂統之塔・デイゴの塔・昭和萬女の塔)

14:35 糸満市真栄里(白梅之塔・新垣さん講話)

15:30 糸満ファーマーズ(アンケート記入)

17:00 県議会県民広場

定員 先着45名

申込受付 電話

旅行費 6,000円(食事代、保険料込)

支払方法 口座振込

主催 ピーススタディーツアー実行委員会
代表 糸数 慶子

旅行企画実施 株式会社国際旅行社

申込受付

担当

調査研究・研修活動実績報告書

提出日 年 月 日

議員氏名	賀数郁美 印	*会派の場合 会派名 会派代表者	まっすぐ市民の会 賀数郁美 印
調査・研修期間	R5年 6 月 22 日(木) ～ R5年 10 月 26 日(木)		
参加者氏名	賀数郁美		
場所(調査・研修先)	オンライン参加		
調査・研修先説明者	小口宏太 千葉商科大学人間社会学部 教員		
市政との関連性	学校給食の危機と可能性		
目的・内容	近年、学校給食をめぐる取り組みが全国各地で盛んです。食農教育、地産地消、まちづくり、持続可能な農業の推進など多様な観点から給食社会的役割に期待が寄せられています。同時に、子どもの「食への権利」を保証するセーフティーネットとしての役割も改めて見直され、給食費の無償化を求める声も各地で高まっています。食と農をつなぐ身近な結び目である給食は、子どもの食と健康を支えるだけでなく、地域の農業を守り、地域を動かす原動力にもなるのです。学校給食の可能性について、日本と海外の事例を踏まえながら考えます。		
成果・所感 (市政の課題等に対しどのように参考になったか)	①学校給食の有機化は、有機農業拡大が目的ではない。 学校給食の有機化は、地域農業と足並みを揃え、地産地消を核としながら進めていくことが前提条件となる。あくまで子どものため給食を豊かにするための手段。「安全か、安全ではないか」という単純な二項対立の議論は、有機農業と慣行農業の間で軋轢を生む原因となり、慣行農家が多数を占める中、農家同士の対立を引き起こす可能性がある。 ☆有機農業の営みというプロセス重視 有機農業の推進は、地域農業の持続可能性を保障、学校給食の目標実現に貢献する。持続可能な農業を地域に広げていく結果として、有機農産物の供給につながれば、理解も得やすいだろう。 ☆学校給食の歴史 有機 昭和7年学校施設、臨時施設方法に関する通知には学校給食の実施は貧困救済として行われるような印象を与えることなく栄養上必要のように周知に注意を払うこと、と書かれていた。 昭和15年対象を限定とした普遍的給食へ ☆学校給食無償化の課題 (1)予算の確保、議会、住民の理解 (2)導入自治体の条例や運用事例等の情報収集 (3)制度設計(無償化の対象範囲、アレルギーによる弁当持参者への助成など) (4)関係規程やシステムの改正、変更 (5)保護者、学校、食材導入業者など関係者への説明		

- ※ 成果・所感は別途報告様式に替えることができる。
- ※ 面談者の名刺の写しや写真等を添付すること。

【参考様式 ⑦】 領収書貼付用紙

整理番号

3

【項目】

☒ 調査研究費

☒ 研修費

☐ 広報費

☐ 広聴費

☐ 要請・陳情活動費

☐ 会議費

☐ 資料作成費

☐ 資料購入費

☐ 人件費

☐ 事務所費

領 収 証

経済学協会 会長 有美 様

No.

★

¥ 24,000-

但 PARC自由学校入会金10,000円(学校給食・給水費・教材費)

2023年 6月 21日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入

印 紙

フォーレスト 11899

特定非営利活動法人

アジア太平洋資料センター(PARC)

〒101-0063 千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル3F

TEL:03-5209-3455 FAX:03-5209-3456

E-mail office@parc-jp.org

特定非営利活動法人
アジア太平洋資料センター

小計額

24,000 円

充当額

24,000 円

学校給食という希望

近年、学校給食をめぐる取り組みが全国各地で盛んです。食農教育、地産地消、まちづくり、持続可能な農業の推進など、多様な観点から給食の社会的役割に期待が寄せられています。同時に、子どもの「食への権利」を保障するセーフティネットとしての役割も改めて見直され、給食費の無償化を求める声も各地で高まっています。食と農をつなぐ身近な結び目である給食は、子どもの食と健康を支えるだけではなく、地域の農業を守り、地域を動かす原動力にもなるのです。学校給食の可能性について、日本と海外の事例を踏まえながら考えます。

受講料 ●オンライン講義(全6回)のみ:14,000円(U25割:5,000円)

●オンライン講義(全6回)+フィールドワーク(1回):
18,000円(U25割:5,000円)

●オンライン講義(全6回)+フィールドワーク(2回):
22,000円(U25割:5,000円)

※フィールドワークのみの参加はできません



コーディネーター 小口広太
千葉商科大学教員 / PARC理事

1983年、長野県塩尻市生まれ。専門は地域社会学、食と農の社会学。有機農業や都市農業の動向に注目し、フィールドワークに取り組んでいる。

オンライン講義 2023年6月～10月 / 木曜日 19:00～21:00 ●全6回 ●開催形式:オンライン(zoom) ●受講料:14,000円

6/22(木)

学校給食の危機と可能性



小口広太 千葉商科大学教員 / PARC理事

学校給食の現状と課題を踏まえ、無償化、地産地消、有機化など様々な論点についてお話し、本講座の内容を紹介します。昨年、PARCが制作した『希望の給食』もみなさんと一緒に鑑賞し、学校給食の可能性を考えましょう。

9/14(木)

オーガニック給食をどう広げるか:フランスの経験から



本田恵久 NPO法人こどもと農がつながる給食だんだん代表理事

フランスで進むオーガニック給食。その周りには子どもたちや職員の食育、農業のあり方、環境、地元との繋がりなどが広がっています。オーガニック給食の持つポテンシャルをお伝えします。

7/13(木) 子どもの食格差と給食費無償



鷹 咲子 跡見学園女子大学マネジメント学部教授

食料費高騰を受けて、学校給食に対する自治体の対応は、値上げと無償化に二分されています。子育て家庭に大きな格差がある中、この事態をどのように考えるべきでしょうか。

9/21(木)

みんなで作る学校給食とまちづくり:
亀岡オーガニックアクションの挑戦



田村典江 一般社団法人FEAST代表理事

学校給食は食と農からまちづくりを考える際のひとつの切り口です。ローカル・フードポリシーの考え方と、京都府亀岡市の亀岡オーガニックアクションの挑戦についてお話しします。

8/31(木) 韓国の親環境給食と無償化



イ・ビンパ ファソン市フード統合支援センター前センター長

カン・ネヨン

慶熙大学マニクスカレッジ講師
/ 地域ファシリテーター



白石 孝 PARC共同代表

韓国・韓国では、有機食材を用いた給食を無償で実施する「親環境無償給食」が広がっています。その発端は、普通の市民が始めた運動でした。運動の当事者にお話を伺います。

10/26(木) 学校給食のこれから



藤原辰史 京都大学人文科学研究所准教授

給食は、時代や政治に左右されながらも、「未来を構想する魅力的な舞台」であり続けてきました。現代社会の様々な課題に対して給食が持つ可能性についてお話しいただきます。

フィールドワーク 2023年7月、11月 ●開催形式:対面・フィールド ●全2回 ●参加費:各回4,000円

7/19(水) 日中(10:00頃-12:00頃で調整中)

【フィールドワーク:東京都武蔵野市・武蔵野市立学校給食桜堤調理場】
安心・安全、こだわりの給食の現場を訪ねる



北原浩平 武蔵野市給食・食育振興財団理事長

都市部でありながら、長年こだわりの給食で知られる東京都武蔵野市。生産者との顔の見える関係にこだわった食材選びと、加工食品を排した手作り調理。民間委託ではない、市出資の財団のもとで、この味を継承しています。その調理場を見学、お話を伺った後、皆で給食をいただきます！

11/11(土) 日中

【フィールドワーク:東京都瑞穂町・近藤ファーム】
地産地消と食育を軸にした農業経営の現場を訪ねる



近藤 剛 近藤ファーム代表

学校給食への野菜供給のことや食育についての当園の取り組みをご紹介します。また東京で農業をすることの課題や可能性についてもお話ししたいと思います。

PARC DVD

国際理解・国際協力・環境教育・消費者教育に役立つDVDです。
マスコミが伝えたい世界各国の人びとの声、社会のしくみについてお伝えします。

希望の給食

食と農がつむぐ自治と民主主義

2022.10
RELEASE!

子どもたちが学校で毎日のように食べる給食。

給食は、子どもたちの健康と成長を担うだけでなく、地域の食と農を結びつけます。

どのような食材を使うのか、費用負担をどうするか、誰に提供するのか。

給食をめぐる選択は、どのような地域を実現するのか、という「自治」の実践と切り離せません。

日本と韓国の事例から、地域の未来を形作る給食のあり方を考えます。



事例紹介 千葉県いすみ市／長野県松川町／東京都武蔵野市／韓国ファソン市

企画・監修：内田聖子／小口広太／白石孝 監督・撮影・編集：香月正夫（株式会社セミコ） 制作：特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター（PARC）
2022年／DVDまたはオンラインでストリーミング視聴／カラー 42分



子どもたちの健康と成長を担い、地域の食と農をつなぐ給食。
そこに私たちはどのような未来を描き、実現していくのか。



地元産有機米100%の給食を短期間で実現した千葉県いすみ市。地域の生物多様性をどうやって未来に残すか、という課題を行政と市民がともに議論する中で、子どもたちの食と地域興しが結びついたという。



果樹の町として知られる長野県松川町。遊休農地に悩む行政、地場産野菜を求めていた栄養士、有機農業に取り組み始めていた生産者らが協力し合い、地元産有機の米・野菜を自校式調理で子どもたちに届けている。



都市部にありながら、生産者との顔の見える関係を重視した手作り給食で長年知られる東京都武蔵野市。民間委託ではない財団方式というユニークな運営形態のもとで、こだわりの食材と調理をいまに受け継いでいる。



給食の有機化と無償化が一体になって進む隣国・韓国。すべての人の食の基本権の保障という課題を市民参加で解決するフードガバナンスの仕組みが作られ、食をめぐる取り組みは学校給食を超えて公共給食へと広がっている。

日本全国の小中学校で提供されている学校給食は、子どもたちの健康と成長を支えるだけでなく、食について学ぶ生きた教材の役割も担っています。近年では、給食への地場農産物や有機農産物の導入が注目を集めています。

しかし、給食が実現すべき価値は「食の安全」だけにとどまりません。年間を通じて大勢の子どもたちが食べる給食には、どんな食材を誰が作り、どう届けるか、調

理をどう行つか、といった仕組みづくりが欠かせず、給食をめぐる選択は地域のあり方をも左右します。給食を見つめ直すことは、食への権利、地域の発展、自治体による自治といった課題に挑戦していくことでもあるのです。

実際、日本の各地の自治体では、給食を軸にした地域の再生が始まっています。生産者の育成や自然環境の保全、子どもの貧困といった課題への取り組みの中

で、給食の役割が改めて注目されているのです。さらに隣国・韓国では、学校給食の改善を求める市民運動をきっかけに、有機食材を用いた給食を無償で実施する「親環境無償給食」がすでに定着しつつあります。日本と韓国の自治体での取り組みへの取材を通じて、地域の未来を形作る給食のあり方を考えます。



希望の給食 一食と農がつむぐ自治と民主主義

2022年/DVDまたはオンラインでストリーミング視聴/カラー42分

一般価格 4,500円+税 (図書館価格:15,000円+税)

上映会を
開きませんか？

全国各地での上映会開催を呼びかけています。地域やグループでぜひ企画ください。

●事前にDVDをご購入ください。●DVD代金と別に、上映料(1回1万円+税)が上乗せされます。

●詳しくはPARCのウェブサイトをご覧ください。●オンライン上映会をご希望の方は事務局にご相談ください。

詳細は
QRコード



DVDのご購入・上映会開催申込み・お問い合わせは



特定非営利活動法人
アジア太平洋資料センター
(PARC)

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル3F FAX: 03-5209-3453

TEL 03-5209-3455

E-mail office@parc-jp.org

PARC

検索

http://www.parc-jp.org/



わたしたちの暮らす社会のこと、世界とのつながり——。

一緒に考えてみませんか？



【調査研究】

市民の目線で、国境を越えた調査活動をしています。これまでに、アジアにおける自由貿易地域研究、日系多国籍企業研究、バナナ・エビ研究、グローバリズム研究会などを行いました。自分の足で歩き、自分の目で見、鼻で嗅ぎ……ということを基本に、専門家に頼らず自分たちの力で調査する「はだしの研究者」を生み出していくことも目的にしています。

◆最近のグローバリズム研究：水の民営化・商品化／水産資源（さかな）／電子ごみ／コンビニ／ブラック企業／鉱物資源探掘 など

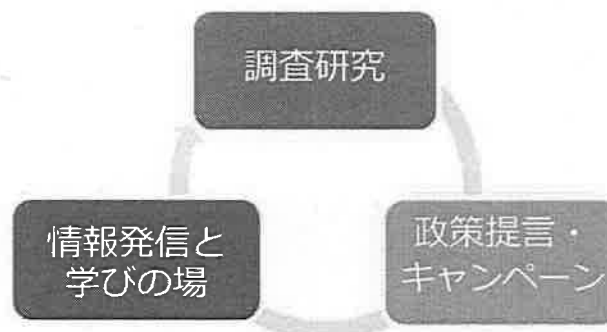
【PARC 自由学校】

PARC 自由学校は、受講生自身が、自分たちの暮らしが世界とつながっているという視点から、世界と社会を知り、新たな価値観や活動を生み出すオルタナティブな学びの場です。1982 年に開校して以降、アジアや世界情勢、グローバリズム、紛争・戦争、環境と暮らし、アート、農業、ダンスなど、幅広いテーマの講座を行なっています。現在は毎年約 14 講座を開講・約 300 人の受講生が参加しています。

【オーディオ・ビジュアル (AV) 作品の制作】

世界の現実をとらえ、社会を見つめなおす視点を提供する映像作品を制作・販売しています。これまで『バナナ植民地フィリピン』『エビの向こうにアジアが見える』『静かな汚染、ネオニコチノイド』『希望の給食一食と農がつむぐ自治と民主主義』『新型コロナが映すいのちの格差』など 50 本以上の作品を制作。図書館や大学、開発教育の現場などで活用されています。

アジア太平洋資料センター



【ニュースレター『PARC 通信』の発行】

世界で起こっている現象や問題、人びとのアクション、論考を伝えるニュースレターを発行しています。グローバルゼーションや人権、環境問題、紛争など、マスコミでは伝えられない情報をお届けしています。

【インターネットでの情報提供】

PARC には、これまで培ったネットワークを通じて世界各地の NGO や草の根の運動団体、研究所などから人権・環境・開発問題などをテーマにした出版物やメールが届きます。こうした情報を迅速にインターネットやメーリングリストなどを通じて発信しています。

【政策提言・キャンペーン】

PARC は日本に活動基盤をおきつつ、世界の NGO と結びついています。こうしたつながりを力に、政府開発援助 (ODA) や累積債務問題、貧困や差別根絶などの社会開発問題、貿易・投資問題、TPP などめぐる、日本政府や国連諸機関、IMF・世界銀行などに意見を申し入れ、具体的な提案をする政策提言を行なっています。

◆PARC のあゆみ

- 1968 年 英文季刊誌『AMPO』を発行
- 1973 年 設立
- 1979 年 日本語季刊誌『世界から』(92 年まで全 42 冊)を発行
- 1982 年 PARC 自由学校開校
- 1983 年 10 周年記念・国際会報『国際連帯マニフェスト』発行
- 1984 年 会員制度をスタート
- 1989 年 第 1 回ピープルズ・プラン 21 世紀 (PP21) を開催。
「水俣宣言—希望の通合」を採択
- 1992 年 季刊『世界から』を終刊し、季刊『オルタ』を発行
- 1993 年 月刊『オルタ』発行 (93 年～2007 年まで)
「G7 を越え国連民衆法廷」を東京で開催
- 1995 年 コペンハーゲンで開かれた国連・社会開発サミット、北京での世界女性会議に参加、「ODA を改革するための市民・NGO 連絡会」発足。
- 1998 年 「東ティモール市民平和救済プロジェクト」開始
- 2000 年 「Jubilee2000」沖縄会議を開催
- 2002 年 特定非営利活動法人の認定取得
- 2003 年 設立 30 周年
- 2004 年 「スリランカ漁民支援プロジェクト」開始
- 2005 年 「ODA50 年」にあたり国際シンポジウムを開催
- 2007 年 「第 1 回アジア連帯経済フォーラム」へ参加
- 2008 年 組織再編により、「アジア太平洋資料センター (PARC)」と「パルシク」の 2 つの NPO へ
- 2009 年 アジア連帯経済フォーラム 2009 (東京) の事務局団体として参加
- 2010 年 イスラエルへの出店中止を求める「STOP! 無印良品キャンペーン」や、「TPP に反対する人々の運動」へ参加
- 2011 年 311 東日本大震災被災地への支援物資キャンペーン実施



世界で、日本で、すべての人が対等・平等に
人間としての尊厳をもって暮らしていけるように——。
PARCの活動はそんな思いからはじまっています。

わたしたちは、貧困や格差、戦争や紛争、
環境破壊や人権侵害を生み出している根本にある
世界の経済と社会の構造を明らかにします。

情報収集と発信、調査研究・政策提言、
学びの場、講演会など、多様な市民活動を通じて、
世界とわたしたちのつながりを社会へ発信しています。

わたしたち自身が変わることによって日本社会が変わり
そのことを通じて、世界が変わる——。

人びとが国境を越えて出会い、エンパワーしあうことで
ともに生きることのできるオルタナティブな
(今のようでない、もうひとつの) 社会の実現を
PARCはめざしています。

会員になって活動に参加しませんか？

PARCの活動は会員のみならず参加と支援によって支えられています。会員になって一緒に活動していきましょう！

◆会員になると……

- 会員総会にて活動の方針や具体案についての議決権をもちます
- PARC主催・共催の研究会、講演会・イベントに参加できます
- ニュースレター『PARC通信』をお届けします
- PARC自由学校への単発参加ができます（別途受講料がかかります）
- PARCのAV作品を2割引でご購入いただけます
- 会員メーリングリストへご参加いただけます
- その他、PARCから各種情報・ご案内をお送りします

◆年会費

● 一般会員	12,000 円
● 夫婦・パートナー会員	18,000 円
● 学生会員	8,000 円
● 賛助会員（活動を財政的に支えて下さる方）	20,000 円

◆お申し込み方法

- 電話、FAX、E-mailにて入会申込資料をご請求ください。
事務局より資料をお送りします（ウェブサイトから直接会員登録も可能です）。
- 入会資料に同封されたハガキまたはE-mail、FAXに必要事項をご記入の上、事務局までお送りください。
- 下記の口座に会費をお振込みください。
- 会費のお振込み日の翌月から会員となります。

郵便振替口座 00160-4-163403

銀行口座 ゆうちょ銀行

〇一〇支店（019）当座口座 0163403

名義はいずれも「アジア太平洋資料センター」

◆組織

代表理事 内田聖子 白石孝

理事 稲場雅紀 小口広太 小林孝信 田中滋

高木恒一 中山留香子 花崎晶 藤井敦史 八木亜紀子

監事 大橋正明 穂坂光彦

特定非営利活動法人

Pacific Asia Resource Center

アジア太平洋資料センター

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル3F

TEL 03-5209-3455 FAX 03-5209-3453

http://www.parc-jp.org/ E-mail office@parc-jp.org

Pacific Asia Resource Center (PARC)

私たちが変わる。 ● ● ● ●

● ● ● ● 世界を変える。



特定非営利活動法人

Pacific Asia Resource Center

アジア太平洋資料センター

資料購入費

整理番号

4

【項目】

☐ 調査研究費☐ 研修費☐ 広報費☐ 広聴費☐ 要請・陳情活動費☐ 会議費☐ 資料作成費☒ 資料購入費☐ 人件費☐ 事務所費

領 収 書

No. 0289614

2023 年 6 月 27 日

株式会社 宮 脇 書 店

〒760-0029 高松市丸亀町四番地八

電 話 087-851-3732

得意先コード

賀敬 郁美 様

金額 1980

支払区分	☐ 現金(円)
	☐ 図書カード(円)
	☐ クレジット(円)

但し

上記の金額正に領収致しました

収入印紙

5万円以上
100万円以下
200円

内訳

税抜金額

消費税(%)

係員名

※ 係員名のなきものは無効

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原字宮平261

宮脇書店 南風原店

TEL 098-882-6639

全国チェーンの
宮脇書店

宮脇書店 南風原店

電話 098-882-6639

〒901-1104 沖縄県島尻郡南風原町
宮平261

2023/06/27(火) 20:28

No.

扱:

政治はケンカだ! 明石市長の1
@1980 1点 ¥1,980

合計商品点数	1点
合計	¥1,980
(消費税額)	¥180

課税対象額	¥1,800
税額 10.00%	¥180

お預り	¥2,000
お釣り	¥20

小計額

1,980 円

充当額

1,980 円

【参考様式 ⑦】 領収書貼付用紙

整理番号

5

【項目】

☐ 調査研究費☐ 研修費☐ 広報費☐ 広聴費☐ 要請・陳情活動費☐ 会議費☐ 資料作成費☒ 資料購入費☐ 人件費☐ 事務所費

登録番号：T9010001134416 領収証番号：000085809 2023年07月28日 No. [REDACTED]

領収証

様

金額

¥4,620-

内クレジット利用計

¥0(内消費税等 ¥0)

内現金扱い等計

¥4,620(内消費税等 ¥420)

書籍・文具等

¥4,620(内消費税等(10%) ¥420)

但し

差替代として

上記正に領収いたしました

御丸善ジュンク堂書店 那覇店

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1-19-29

ディーナハB1F～3F 電話098-860-7175

明細書

沖縄県那覇市牧志1-19-29

様

D-naha1～3階

ジュンク堂書店

那覇店

2023年7月28日

配送票ナンバー

TEL:098-860-7175

FAX:098-860-7176

領収書ナンバー 000085809

合計金額

4,620 円

合計点数

2 点

税区分	点数	税込金額	内消費税額
標準税率10%	2	¥4,620	¥420

明細

商品名

内税単価

点数

金額 課税区分

沖縄子ども白書 2022 復帰50年	上間 陽子(編集委員)	かもがわ出版	¥3,080	1	¥3,080	標準税率10%
少子化対策したら人も街も幸せになったっ て本当ですか？	ひろゆき(著)	KADOKAWA	¥1,540	1	¥1,540	標準税率10%

起票担当: [REDACTED]

1 / 1 ページ

小計額

4,620 円

充当額

4,620 円

【項目】

☐ 調査研究費☐ 研修費☐ 広報費☐ 広聴費☐ 要請・陳情活動費☐ 会議費☐ 資料作成費☒ 資料購入費☐ 人件費☐ 事務所費

登録番号: T9010001134416 領収証番号: 000012386 2023年08月24日 No. [REDACTED]

領収証

賀数 郁美

様

金額

¥1,100-

内訳: カード利用計

¥0(内消費税等 ¥0)

内現金扱い等計

¥1,100(内消費税等 ¥100)

書籍・文具等

¥1,100(内消費税等(10%) ¥100)

但し

書籍代

上記正に領収いたしました。

御丸善ジュンク堂書店 那覇店

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1-19-29

ディーナハB1F~3F 電話098-860-7175

明細書

沖縄県那覇市牧志1-19-29

賀数 郁美 様

D-naha1~3階

2023年8月24日

ジュンク堂書店

配送票ナンバー

那覇店

TEL: 098-860-7175

領収書ナンバー 12386

FAX: 098-860-7176

合計金額

1,100 円

合計点数

1 点

税区分	点数	税込金額	内消費税額
標準税率10%	1	¥1,100	¥100

明細

商品名

内税単価

点数

金額

課税区分

武器としての国際人権 日本の貧困・報道・藤田 早苗 (著) 集英社
差別 (集英社新書)

¥1,100

1

¥1,100

標準税率10%

起票担当:

1 / 1 ページ

小計額

1,100 円

充当額

1,100 円